

愛媛県岩松川で得られたオキナワヤワラガニ

山川宇宙¹・和田太一²・山本貴仁³・岩田和鷹³・山下龍之丞⁴・清水孝昭⁵

¹筑波大学大学院生命環境科学研究科生物科学専攻 ²南港ウエットランドグループ ³西条自然学校

⁴東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科応用環境システム学専攻

⁵愛媛県農林水産研究所水産研究センター



写真1 *Neorhynchoplax okinawaensis* オキナワヤワラガニ (TKPM-AR 3314)

種の記録

Hymenosomatidae ヤワラガニ科

Neorhynchoplax okinawaensis (Nakasone and Takeda, 1994) オキナワヤワラガニ (写真1)

標本 徳島県立博物館節足動物標本 (TKPM-AR) 3314, 1♂, 甲長 2.8mm, 甲幅 2.7mm, 岩松川河口域 (愛媛県宇和島市津島町近家), 2024 年 9 月 17 日, 和田太一採集.

種の特徴

上記標本は, 甲が扁平な丸みのある三角形で, 甲域は明瞭に分かれる. 額に 3 歯を持ち, 前側縁に歯はないが, 後側縁のやや腹側に前方へ向かう歯状突起を 1 つ有する. 鉗脚と歩脚は細長い. 鉗脚の指部内面に歯がある. 歩脚の指節内縁に小歯をもち, 剛毛も列生する. 以上の特徴が, 三浦 (2008) のオキナワヤワラガニの特徴と一致したため, 本種に同定された.

備考

上記標本は, 岩松川と芳原川の合流地点付近の泥に埋まった転石の下から採集された. 第三著者の調査では, 2024 年 6 月 7 日および 7 月 22 日にも同所で本種が確認されている. 本種は静岡県から琉球列島にかけて記録されており (乾ほか, 2020), 四国では徳島県および高知県から記録されている (山本ほか, 2005, 2006). 本報告は本種の愛媛県初記録となる.

謝辞

標本の登録を行っていただいた徳島県立博物館の鈴木佑弥学芸員に厚く御礼申し上げる. 本調査は「令和 6 年度えひめのブルーカーボン里海づくりモデル事業」により実施された.

引用文献

- 乾 直人・山川宇宙・碧木健人. 2020. 神奈川県田越川および静岡県青野川から採集された注目すべきカニ類 4 種. 神奈川自然誌資料, 41: 27–31.
- 三浦知之. 2008. 干潟の生きもの図鑑. 南方新社, 鹿児島. 197pp.
- 山本藍子・町田吉彦・佐藤友康. 2005. 土佐湾流入河川ならびに内湾の汽水域に生息する 8 種のカニ類の分布. 四国自然史科学研究, 2: 1–19.
- 山本藍子・佐藤友康・町田吉彦. 2006. 徳島県南部の感潮域と内湾の潮間帯のカニ類 (I). 四国自然史科学研究, 3: 15–22.

(2025 年 5 月 12 日受付, 2025 年 5 月 13 日公開)

連絡先: 山川宇宙 (e-mail: uchukawaanago@gmail.com)
(Uchu Yamakawa, Taichi Wada, Takahito Yamamoto, Kazutaka Iwata, Ryunosuke Yamashita and Takaaki Shimizu. 2025. New record of *Neorhynchoplax okinawaensis* (Hymenosomatidae) from the Iwamatsu River, Ehime Prefecture. NS Fieldnote, 25010)